

令和2年10月13日

関係各位

東京学芸大学附属高等学校 校長 大野 弘



東京学芸大学附属高等学校 第19回 公開教育研究大会のご案内

皆様方には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では、第19回公開教育研究大会を以下のとおり開催いたします。新型コロナウイルス感染症の拡大という事態に鑑み、オンラインで実施させていただきますこととなりました。是非、多くの教育関係者の皆様にご参加いただき、ご意見、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

1. 主題

「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント(2)～観点別評価の導入に向けた教育活動の改善～」

本校ではこれまで「コンピテンシー・ベースのカリキュラム開発」という研究主題に継続して取り組んできました。昨年度より「『学習評価』を軸としたカリキュラム・マネジメント」を研究テーマに設定しました。観点別評価の導入など高等学校の現場に「学習評価」の改善が求められている今、本校が培ってきた指導と評価の方法を授業実践のかたちで公開しつつ、学校全体の教育課程を有機的なものへと高めていきたいと考えています。

2. 日時・内容

令和2年11月7日(土)

各教科の研究授業は、アップロードされた動画を参加者の方に限定公開します。

11月7日は午前中に各教科の協議会を、午後に全体講演会をオンライン(ライブ形式)で行います。

10:30～12:30	12:30～14:00	14:00～16:00
各教科 研究協議会	昼休み	講演会

公開授業 ※研究授業は動画配信します。視聴には事前申し込みが必要です。

教科	科目	授業者	授業タイトル	授業概要
国語	国語総合 現代文	森安 惟澄	『対話型思考のデザイン』 ー省察によるブレイクスルーー	日本の学校教育では、相手の言葉に同意する「加算方式の話し合い」が多かったのではなかろうか。情報を構造化し、前提を疑い、価値観を覆すことで、「対話的思考」をデザインする、新しい話し合い型授業の形を提案する。
地理歴史	日本史A	加藤 将	「近代国家の形成と国際関係の推移 ー日清・日露戦争と植民地形成ー」	歴史総合の開始を見据え、近現代の世界とその中の日本を相互的な視野から捉える授業を提案する。具体的には、条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係に着目し、日本を中心とした植民地の形成について考察させたい。
公民	現代社会	山北 俊太郎	トロッコ問題・再考 ー新学習指導要領『公共』に向けた思考実験の取り扱い方を探るー	トロッコ問題は有名な思考実験である。しかし有名になりすぎた結果、本来この思考実験が持つ哲学的なエッセンスが失われて一人歩きしているのではないか。トロッコ問題をどのように取り扱うべきか、再考したい。
数学	数学Ⅱ	田中 満城子	常用対数の利用	日常にみられる事柄に着目し、なぜそのようなことが起こるのかという疑問の解決のために、対数をどのように用いることができるか、用いることによって何がわかるのかを探っていく。
理科	生物基礎	大谷 康治郎	生物基礎における「指導と評価の一体化」を目指したカリキュラムづくり	毎年実施している光学顕微鏡による「細胞の観察」を中心に、生物基礎における授業・指導・評価の流れと、カリキュラムづくりについて提案する。

理科	地学基礎	齋藤 洋輔	地学基礎における「指導と評価の一体化」を目指したカリキュラムづくり	毎年実施している「岩石の観察」を中心に、地学基礎における授業・指導・評価の流れと、カリキュラムづくりについて提案する。
家庭科	家庭基礎	栗原 智美	SDGsと非常事態下の食事	緊急事態宣言のもと、学校での調理実習の実施もなくなり例年実施している調理メニューをそれぞれの家庭で必要に応じて材料をアレンジして実施。手に入れやすい食材の話から非常時の食事を考えSDGsに繋げる授業とする。
外国語	コミュニケーション 英語Ⅰ	加藤 淳	「教科書で」学ぶ意義・「教科書を」読む意義を高めるための4技能5領域統合型授業実践	主体的な学び・自分ごととしての学びが一層求められる中、教科書は能動的な学習のための素材となり得ているだろうか。学習者の視点から、教科書で学ぶ意義、教科書の英文を読む意義を高めるための、4技能5領域統合型の授業実践について提案する。

研究協議会 11月7日(土) 10:30～12:30

教科	研究テーマ	提案者	助言講師	所属
国語	対話型授業の可能性ー学びのメタ認知ー	森安 惟澄 若宮 知佐	渡辺 貴裕	東京学芸大学 教職大学院 教育実践創成講座准教授
地理歴史	アジアの近代をどう捉えるか	加藤 将 小林 理修	國分 麻里	筑波大学人間系 准教授
公民	思考実験を通じて得られる哲学的な学びの「評価」法を探るー私たち教師自身が「評価」について考えを改めねばならないことは何かー	山北 俊太郎	村瀬 智之	東京工業高等専門学校准教授
数学	深い学びの実現と、思考力、表現力、判断力の育成 およびその評価	数学科	西村 圭一	東京学芸大学大学院教育学研究科教授
理科	「指導と評価の一体化」を目指した 理科のカリキュラムづくり	理科	藤田 剛志	千葉大学教育学部教授
家庭科	コロナ禍の中の学校における 実習のあり方を考える	栗原 智美	小玉 敏也	麻布大学生命・環境科学部教授
外国語 (英語)	4技能5領域統合型の授業実践	加藤 淳	白倉 美里	東京学芸大学教育学部准教授

講演会 11月7日(土) 14:00～16:00

テーマ 「新学習指導要領の趣旨を生かした評価のあり方(仮題)」

講師 石井 英真 先生 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

3. 後援

東京都教育委員会

4. 参加申込

研究授業および講演会への参加申し込み受付は、本校HP(<http://www.gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp>)で行っております。

申込締切: 2020年10月28日(水) 参加費は無料。

問い合わせは、下記までお願い致します。 東京学芸大学附属高等学校

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 4-1-5 TEL:03-3421-5151(代) FAX:03-3421-5152

E-mail:gaku-ken@gakugei-hs.setagaya.tokyo.jp 担当:研究部 松本 至巨